

東京都・葛飾区
芸術文化・連携事業

かわむら こうへいさい
川村 亘平 斎
かげえ
影絵ワークショップ

いど ちかすいけい
や井戸、地下水系を調べん
かこ かわ
葛飾区を囲む川や井戸、地下水系を調べん
かつしかく
影絵人形を制作・上演しよう
かげえにんぎょう
せいさく じょうえん

日時・会場

2026年(令和8年)

8月22日(土) 10:00~16:00
青戸地区センター 3階 大会議室

8月26日(水) 10:00~16:00
新小岩地区センター 4階 ホール

8月27日(木) 10:00~16:00
柴又学び交流館 3階 A視聴覚室

対象

葛飾区在住・在学の
小学1年生~中学3年生

定員

各回15名程度
※定員を超えた場合抽選

参加費

無料・要申込

かわにうつる このかげはない？

葛飾区を囲む川や井戸、地下水系を調べて、
影絵人形を制作・上演しよう

葛飾区のあちこちに隠れている「水」を探して、オリジナルの影絵人形をつくってみましょう。一日の最後には、影絵師の川村亘平さんと音楽家と一緒に影絵の上演を行います。一体どんな影絵たちが現れるのか？！おおきくなったり！ちいさくなったり！不思議がいっぱい影の世界。みんなで遊んでみませんか？当日つくった影絵人形はお持ち帰りできます！



写真提供：東京芸術劇場 撮影：藤井光永

ワークショップ ★お子様のみ参加

葛飾区と「水」のつながりを探すまち歩きから、影絵づくりのアイデアをふくらませて、影絵人形をつくります。

発表 ★保護者の方観覧可

川村さんと音楽家と一緒に影絵を上演します。

15:20より開始予定の影絵の上演は保護者の方もご覧いただけます。ご観覧希望の方は15:10～15:20の間に会場へ直接お越しください。

日時・会場 ※各回一部内容は異なります。複数回のお申込みも可能です。

日時	8月22日(土) 10:00~16:00	8月26日(水) 10:00~16:00	8月27日(木) 10:00~16:00
会場住所	青戸地区センター 3階 大会議室 葛飾区青戸 5-20-6	新小岩地区センター 4階 ホール 葛飾区新小岩 2-17-1	柴又学び交流館 3階 A視聴覚室 葛飾区柴又 5-33-8
アクセス	京成線「青砥」駅 徒歩10分 京成バス東京「青戸平和公園」徒歩3分	JR 総武線「新小岩」駅南口 徒歩5分	北総線「新柴又」駅 徒歩5分 京成線「柴又」駅 徒歩13分 京成バス東京「柴又小学校」徒歩5分
共通事項	対象 葛飾区在住・在学の 小学1年生～中学3年生 定員 各回15名程度 ※定員を超えた場合抽選 参加費 無料・要申込 持ち物 昼食、飲み物、 帽子または日傘		



申込方法

←こちらの二次元コードより
お申し込みください。

申込期間 7月2日(木)～
7月31日(金)

注意事項

●各回とも30分程度の屋外での活動が含まれますので、熱中症対策の上ご参加ください。天候により屋外での活動は変更になる場合がございます。●途中昼休憩(1時間程度)を含みます。昼食は各自ご用意ください。会場内で食べることができます。会場内は冷房が効いておりますが、安全管理のため保冷対策をお願いいたします。なお、ごみはお持ち帰りくださいますようお願いいたします。●イベントの様子を写真や映像で記録し、後日HP等で公開する場合があります。撮影不可の場合はお申し込み時にお知らせください。●お申し込み時にお預かりした個人情報、適切に管理・保管し、本事業の実施及びご案内のみに使用します。●やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

講師プロフィール

かわむら こうへいさい
川村 亘平 影絵師・音楽家

インドネシア・バリ島の伝統影絵【ワヤン・クリット】を現代的な文脈で捉え直し、新たな芸能のカタチを模索し続ける影絵師。世界各国で影絵と音楽のパフォーマンスを発表。日本各地でフィールドワークやワークショップを行い、土地の記憶を手がかりに影絵作品を製作。その他、切り絵や壁画、映像制作、映画・CM等への楽曲提供など幅広く活動している。自身が主宰の音楽ユニット【滞空時間】では2年連続フジロックフェスティバル出演。平成28年度第27回五島記念文化賞美術新人賞受賞。

音楽家プロフィール

ヤンチ スティールパン奏者

8月22日

1998年にスティールパンの弾き語り活動を始動。2005年には発祥国トリニダードトバゴのオーケストラで演奏・ツアーを行う。帰国後はソロのほか、稲田誠・カメイナホコとトンチトリオを結成。楽曲提供、サポート、音楽監修なども手がけ、フジロックフェスティバルや山形ビエンナーレなど多方面で活躍中。

こばやし たけふみ
小林 武文 打楽器奏者

8月26日・27日

東京生まれ。ドラムセットをはじめ、和洋様々な打楽器類を演奏。所謂「ジャンル」を問わない独自のスタイルで、繊細な音空間から即興、芝居、ダンス、映像、影絵との共演まで多様な現場で活躍する。自身のグループ「琴鼓'n管」の他、林正樹リーダーの「間を奏でる」、小川美潮フ・タウタフ、大友良英スペシャルビッグバンド等、多彩なユニットで活動中。

